※令和４年度以降入学生用

学校番号	3001

令和５年度　フラワーファクトリ科

教科	農業	科目	草花	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「草花」　（実教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

農業の栽培分野（草花）における知識や栽培技術および販売、利用について体験的に学ぶ科目です。スプレーギクを主な教材としてその生理・生態的な特性を知ることで、草花の栽培や繁殖技術、また出荷に至るまでについて学びます。またフラワー装飾についても草花の特性を生かし、目的に応じた作品制作をします。実習の中で自ら課題を発見し、その解決のため、工夫や改善を行い、実践的な能力と態度を身に付けましょう。

２　学習の到達目標

a：草花の栽培や利用に関する目的や基本的な知識や技術を習得させる。
b：草花の栽培に必要な知識と技術を理解させるとともに、生産性の向上を図る能力と自身で考え適切な行動に繋げられる判断力を身に付けさせる。また装飾技術を通した表現力を身に着けさせる。
c：草花の栽培を通して、それぞれの作業の意義や役割を理解させ、草花栽培に関する興味付けを行い課題や目的意識を持つことが出来る。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	草花の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ草花栽培、利用に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用するとともに草花栽培、装飾の意義や役割を理解している。	草花に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、草花栽培、装飾に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	草花の生理・生態的な特徴や栽培管理、利用に関心を持ち、草花の特性に応じた栽培管理を意欲的に行うとともに、環境と調和した持続的な農業生産を視野に栽培技術の向上と工夫を図る態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	草花の特性と栽培技術、切り花の栽培	（座） ・草花の特性と栽培技術 （実） ・スプレーギクの挿し芽や定植を中心とした切り花の栽培管理についての知識と技術 ・アレンジメントの作成	a: 草花の栽培や利用について、基礎的・基本的な知識を身に付けている。 b: 草花の栽培について、課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、判断・表現する姿が見られる。装飾技術を活用し、表現することが出来ている。 c: 草花の栽培や利用について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・定期考査の結果 ・学習状況の観察	・ノートの記述 ・作品 ・定期考査の結果	・学習状況の観察 ・ノートの記述
2学期	繁殖と育種、切り花の栽培	（座） ・繁殖と育種 （実） ・スプレーギクの整枝や収穫を中心とした切り花の栽培管理についての知識と技術 ・ブーケの作成	a: 草花の栽培や利用について、基礎的・基本的な知識を身に付けている。 b: 草花の栽培について、課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、判断・表現する姿が見られる。装飾技術を活用し、表現することが出来ている。 c: 草花の栽培や利用について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・定期考査の結果 ・学習状況の観察	・ノートの記述 ・作品 ・定期考査の結果	・学習状況の観察 ・ノートの記述
3学期	切り花生産・鉢物生産、鉢物栽培・土づくり	（座） ・切り花生産・鉢物生産 （実） ・鉢物の栽培管理や圃場の土作りについての知識と技術 ・ドライフラワーを利用したアレンジメントの作成	a: 草花の栽培や利用について、基礎的・基本的な知識を身に付けている。 b: 草花の栽培について、課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、判断・表現する姿が見られる。装飾技術を活用し、表現することが出来ている。 c: 草花の栽培や利用について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・定期考査の結果 ・学習状況の観察	・ノートの記述 ・作品 ・定期考査の結果	・学習状況の観察 ・ノートの記述

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度